

論文テーマ

未来を切り開く人材を見極めるアセスメント

論文の主旨

経営環境の変化に合わせて企業も人も変革を迫られている。環境適応に対する課題は経営者だけの問題ではない。社員一人一人に求められる役割やスキルも変化しており、企業も人も変化し続ける環境に対して、柔軟に適応し続けることが求められる。当論文では、2050年の未来に向けて、自ら未来を切り開く人材を見極め、育成し、活用するための施策を提言する。

1. 産業構造の大転換を迎えている日本の現状
老市場の変化や労働需要の変化、生産年齢人口の減少を統計資料から改めて確認し、現状の日本における人材育成の切迫感を共有する。
2. 未来を切り開く人材（未来人材）の育成が急務である
未来に向けて、人材育成が迫られる中で、様々な要素からの育成アプローチがある中で、根源的に必要とされる意識の持ち方や能力の在り方について確認するとともに育成が進まない主要因を共有する。
3. 未来人材を見極めるツール（人材アセスメントの活用）
人材育成上の今日的課題を確認した上で、未来に向けて必要となる人材を見極め、育成に繋げる有効なツールとしての人材アセスメントの活用方法や効果についてご提示する。
4. タレントマネジメント
アセスメント結果を活用しながら、継続的に育成を図るためのアプローチとしてタレントマネジメントの推進方法をご紹介します。

以上

発表者の紹介

氏 名	小 栗 義 裕 主任コンサルタント 東京事業部 人材マネジメントコンサルティング部
専 門 分 野	マネジメント教育（人材アセスメント、職場実践支援）、リーダーシップ教育 各種人事評価訓練（目標設定、業績考課、行動考課、フィードバック面接など） 人事制度構築支援コンサルティング、組織風土改革活動 など
コンサルティング歴	製造業（自動車部品をはじめとした各種製造業）を主な顧客として、 金融、システム開発、出版、シンクタンクなど様々な業種にて経験を有する。